



QUICKSTART-GUIDE

Mini Series Door and Window Sensor



プレサックミニシリーズ ドア・窓用開け閉めセンサ クイックガイド

1. 初めに

この度はプレサックミニシリーズ開け閉めセンサをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用になる前に必ず本書をお読みになり内容を十分に理解されたうえで、正しく製品をお使い頂きますようお願いいたします。

ご使用前に本機の派生（補助電池あり・なし）を再確認し、派生にあった正しい操作を行ってください。

本書中のマークの説明



警告 — 危険性が想定される重要な情報を意味します



注意 — 注意事項とその詳しい情報やリンク先を含みます



警告 — 本書に述べる用途以外での使用は回避ください。本機は湿気・ホコリ・汚れのない直射日光・冷暖房源付近を避けた屋内での使用に限られます。また無線通信の妨げになるため、金属製のケース（扉）内でのご使用は回避ください。センサ本体は、取り付けまたは電池交換の必要がない場合は開けないでください。誤作動や故障が疑われる場合は製造者までご報告をお願いいたします。



詳細は <http://www.pressac.com> をご覧ください。

| | |
|---|---|
| Pressac Communications Ltd 145 Glaisdale Drive West Nottingham NG8 4GY | E: sales@pressac.com T: +44 (0) 115 936 5200 E: tech_support@pressac.com T: +44 (0) 115 936 5238 |
|---|---|

2. 製品概要

本機はドア・窓の開閉状態を無線で通信・報告するセンサです。付属の粘着テープまたはねじにより素早く簡単に取り付けが可能です。

特徴

- 起・稼動に必要なエネルギーを環境照明より搾取するエナジーハーベスティング
- 照明が十分でない環境には補助電池バージョンを使用することで継続した動作が可能
- 配線の必要がないためコスト効果の高い据え付けが可能
- 既存機器や設備等への影響がなく素早い据え付けが可能
- 配線の必要がないため場所を選ばない据え付けが可能

機能

- ドア・窓の開け閉め状態を感知・報告
- エンオーシャン規格に準じた無線信号での通信・報告

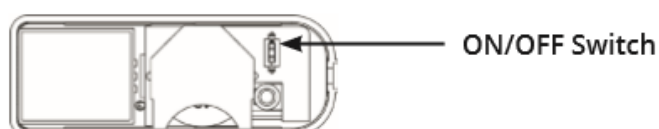
使用例

- ドア・窓の開け閉め状況の把握
- ビルマネージメントシステムの一環としての利用
- 開け閉め状況をアラームや通知で知らせることでの利用
- 開け閉め状況を把握することで空調設備類を無駄なく効果的に利用
- 簡易な後付けが求められる環境での利用

3. 動作開始方法

ソーラー+補助電池バージョン

初めて使用される際に補助電池を ON にする必要があります。裏面のカバーを開け、スイッチをスライドし ON の状態にしてから使用を開始してください。



ソーラーのみバージョン

初めてのご使用時には先ず本機を最低200ルクスの光源下に5分以上を置き、ソーラーセルの充電を行ったうえで使用を開始してください。



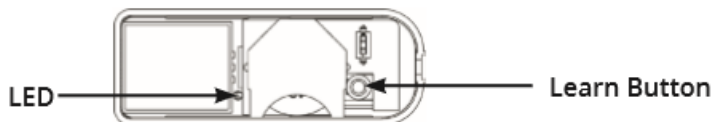
4. セキュリティーモード

本機には通信信号の暗号化機能は搭載されておられません。

5. 接続・起動

本機をエンオーシャンネットワークへ接続します。

1. 本機の位置がエンオーシャンゲートウェイ・受信機の通信範囲内にあることを確認してください。
2. ゲートウェイ・受信機を登録モードに設定してください。
3. 本体裏面の Learn ボタンを押すと LED ライトが1回点滅し、センサから Teach-in（登録）信号が送信されます。

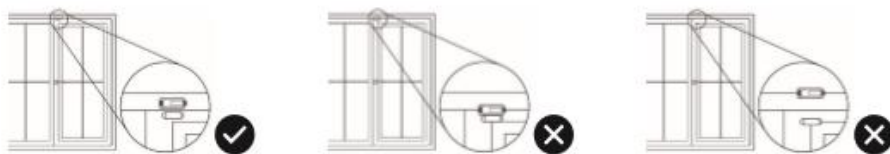


4. Teach-in 完了までそのまま待ちます。
5. ゲートウェイ・受信機側で登録完了を確認してください。

本機は本体裏面の製品ラベルに記されるエンオーシャン ID と EEP（EnOcean Equipment Profile）を用いてマニュアル登録でエンオーシャンネットワークへ接続することも可能です。

6. センサの位置決めと設置

本機は付属の粘着テープまたはねじを用いて取り付けが可能です。



注意：センサ本体とマグネットの距離が5 mm以上離れるとセンサが感知しないため、5 mm以内の最適な場所を選び取り付けを行ってください。

粘着テープを用いての取り付け

1. 付属のアルコール拭き取り紙を用いて取り付け場所表面を拭き取り、ホコリ・汚れ・水分がないかを確認してください。
2. 付属の粘着パッドをセンサ本体とマグネット下部に貼り付けます。
3. 粘着パッドの保護フィルムを剥がします。
4. ドア・窓枠の端（固定側）にセンサ本体を取り付けます。開閉の妨げになるような位置やセンサが突き出すような取り付け方（直線からずれて飛び出すような取り付け方）を避け、本体のソーラーパネルにできる限り自然・人工光が当たるような場所を選び取り付けます。
5. マグネットをドア・窓（開閉の動きがある側）に取り付けます。

ねじを用いての取り付け

1. 製品側面にある留めねじを先ず外してセンサを開け、本体とバックプレートに2部品に分離します。
2. 付属の取り付けねじを用いてバックプレートをドア・窓枠の端（固定側）に取り付けます。開閉の妨げになるような位置やセンサが突き出すような取り付け方（直線からずれて飛び出すような取り付け方）を避け、本体のソーラーパネルにできる限り自然・人工光が当たるような場所を選び取り付けます。
3. センサ本体をバックプレートに取り付けます。
4. 製品側面の留めねじを締めて本体とバックプレートを一つに戻します。ねじを確実に締めて製品を固定してください。
5. マグネットをドア・窓側（開閉の動きがある側）に取り付けてください。



7 補助電池の交換

補助電池の寿命はデフォルト設定下での使用では、本書の仕様表に示す通りとなります。仕様表をご参照ください。

補助電池は以下の手順で交換してください。

1. 本体側面の留めねじを外しバックプレートとセンサ本体の2部品に分離します。
2. 電池ユニット（サブボード）を持ち上げセンサ本体から分離します。
3. 電池を交換します。
4. 電池ユニット（サブボード）を本体に戻します。
5. センサ本体をバックプレートに戻します。
6. 留めねじを締めて本体とバックプレートを一つに戻します。



技術標準適合証明

プレサックミニシリーズ ドア・窓開け閉めセンサ 928MHz

この製品は日本電波法に準拠し ARIB STD-T108 の技術適合認証を取得しています。技術基準適合証明書についてはプレサック社（下記住所）へお尋ねください。ご要望に応じ技術基準適合証明書のコピーも発行可能です。



Robert Smith, Technical Director, Nottingham, March 2018

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 製品仕様 | |
| 無線プロトコル | エンオーシャン |
| 測定範囲 | 開閉状態の報告 |
| 送信感覚 | 開閉の即時報告 状況に変化がない場合は 15 分（繰り返し信号） |
| 補助電池の寿命 | 最長 10 年* |
| 補助電池 | CR2354 |
| リピート機能 | なし |
| テレグラム | 1BS |
| 使用環境 | 屋内 |
| 筐体素材 | PC-ABS |
| キャリブレーション | 工場校正 |
| 使用環境温度 | -20°C～+60°C |
| 保管環境温度 | -20°C～+60°C |
| 原寸 | 約 76.5mm x 28mm x 17.5mm |
| マグネット原寸 | 約 62mm x 12mm x13mm |
| EEP | D5-00-01 |

* 電池寿命は照明環境、報告頻度、用途などの要素により決まります。